

偉そうに社員に「自律自制」を強いる前に・・・？



先月中旬ころ突然、職場の出入り戸など至るところに、このようなステッカーが貼り出された。はっきり言って「みっともない」の一言に尽きる。何かこの会社が病魔に冒されている象徴的な出来事と思えるのは、私だけだろうか？

辞書によれば、「己の欲望や感情を抑え、自らをコントロールする」ことのようなのだ。21世紀社会で、しかも公共性のある民間企業内部で、このような「強権的キャッチコピーが氾濫する」とは、まるで北朝鮮のようでもある・・・？

若干ニュアンスは違うかもしれないが、日本が戦争に明け暮れていた時代、国民に滅私奉公という精神を強要した当時の国民精神総動員「欲しがりません！勝つまでは！」とのコピーに酷似している。実際、他職場の所内掲示には、その類いのおふれが出ているようである。何れにしても自主規制という概念をこのような形で社員に強いるのは異常（幼稚）というほかない・・・。

翻ってリニア説明会での会社の姿勢とは？

ひるがえって、社長自らが「リニアは採算がとれない」と公言する巨大事業を一家などで抱えようとする我社にとって問題は山積している。しがって、社員を思うがママにマインドコントロールすることも、事業を進めるうえで必須条件なのかもしれない。

何れにしても会社は、社員をめっぽう縛る一方で、社運を賭けたリニア事業の中で、あまりにもずさんな環境アセスや住民説明会で不誠実な態度を繰り返している。以下は、我々が独自に入手したリニア説明会の一コマである。

住民：9割が地下トンネルを走るリニアが事故で緊急停止した場合、乗客の避難誘導はどうするのか？ JR東海：何かしらの道具は用意しますが、お客様同士で助け合ってください。

はっきり言って住民を舐めきっている。そしてこの回答に再質問は一切許されないという独裁的なものである。また準備書によれば、立ち退きを余儀なくされる住民や自治体にも未だその説明すらなく、この事業が進められているのである。社長コメントもさることながら、すべてが異常というほかない。そしてこれらの不誠実なJR東海の態度が原因で、沿線住民による多くの訴訟が今後始まろうとしている。（筆者はこの時点でリニア事業は間違いなく崩壊すると考える）

さらに大阪鳥飼車両基地では、リニア投資からであろう経費節減による地下水汲み上げ問題でも、地域住民や自治体との環境保全協定（S39年地下水汲上により地盤沈下）を、一方的に無視し掘削工事を開始した。（現在摂津市と係争中）

このように民意をまったく無視して行われるリニア事業、社員に自律自制を強いる一方で、世の中に対しては、悪態三昧のJR東海？これって安保法制や辺野古基地建設ではないが、民意をとことん無視した自民党安倍政権と酷似しているとしか思えない。そしてリニア事業が、社長が公言したよう世の中の負の遺産にならないことを願わずにはいられない・・・。